

## 「HCV薬剤耐性変異解析(NS5A/L31,Y93)」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、C型慢性肝炎の治療においては、昨年秋に発売されたアスナプレビル(NS3阻害剤)およびダクラタスビル(NS5A阻害剤)の併用療法により大部分の患者は治癒するようになりました。しかし、一方で不成功例が出現すると報告されており、不成功例ではNS5A領域で「L31,Q54,Y93」の3重変異も確認されています。この3重変異を起こすと耐性が19,000倍、増殖能力約2倍の強度耐性株になるとの報告があります。

この度、弊社では下記項目の報告形態を変更し、既存のアミノ酸「L31,Y93」2ヶ所に加え、強度耐性に関わる「Q54」の変異の有無をご報告させていただきます。

取り急ぎご案内いたしますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■対象項目/変更内容

##### ●[3867] HCV 薬剤耐性変異解析(NS5A/L31,Y93)

変更内容	新	旧
項目コード	3871	3867
検査項目名	HCV 薬剤耐性変異解析(NS5A)	HCV 薬剤耐性変異解(NS5A/L31,Y93)
報告形態	L31とQ54とY93それぞれの変異有無*	L31とY93それぞれの変異有無
備考	* Q54 単独変異(L31,Y93 の変異を伴わない)では、耐性に関与しないことが報告されています。(C型肝炎治療ガイドライン第3.3版より)	

※その他検査要領に変更はございません。

#### ■変更期日

●2015年5月30日(土)受付分より

以上